

生物資源教育研究センター



生物資源教育研究センターは、令和7年に農水産業振興研究プラットフォームとともに、その中核を担う恒常的な組織として発足しました。農水産業振興研究プラットフォームとは、佐賀地域に日本や世界の縮図として現れている「温暖化」と「食糧需給」に関連する諸問題を解決するために、学部や文理の垣根を超えて学内全体の『知』を結集する今までにない先進的な仕組みです。

当センターは、3つの拠点から構成されています。本センターの司令塔である本庄拠点は、「温暖化」「食糧需給」課題に対応するための研究機能を持ち、温暖化対応研究部門、食糧需給対応研究部門を整備しています。さらにそれぞれの部門の下に独立した研究チームが構成され、地域の研究ニーズに即応できる体制を整えています。久保泉拠点は、旧農学部附属アグリ創生教育研究センターの実習農場機能を発展的に引き継いだアグリファシリティ部門を設置し、教育機能の強化を図っています。唐津拠点では、農産物を原料とした健康機能性食品や化粧品の開発などに特化した研究を行います。

